

小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握並びに

ワクチン戦略の再構築に関する研究

（研究代表者；筑波大学医学医療系小児科、須磨崎 亮）

主たる研究内容

1. 小児におけるB型肝炎ウイルス感染の疫学調査

- 小児生活習慣病検診を利用した無作為抽出小児の疫学調査
（茨城県と岩手県において実施中）
- 国立感染症研究所に収集された国内血清銀行の検体調査

2. B型肝炎ワクチンの有効性に関する研究

- ジェノタイプが異なるウイルスに対するB型肝炎ワクチンの効果
ヒト肝細胞キメラマウスを用いた感染防御試験など多様な
手法を用いて、日本で開発された遺伝子型C由来ワクチンの
感染防御効果を証明できる研究が進行中
- ワクチン追加接種の必要性に関する研究
医療従事者や母子感染予防の小児を対象に効果を検証中